

省エネルギー・省資源活動

省エネ活動

2012年は、2011年の東日本大震災による福島第一原発の事故を受けての電力使用量を抑える取り組みを引き続き実施しました。店舗や事務所ではできるだけ電気を使わないよう、基本照明やスポット照明の消灯、屋外照明の消灯、空調の基本設定を28℃とするなどの節電を全店で実施し、その結果として、2011年よりも電気・ガス・石油・水道の使用量を削減することができました。

省エネルギー推進委員会

店舗では、エネルギー使用量の削減を目的に月に1度、省エネルギー推進委員会を開催しています。メンバーは、店長や各副店長の管理職に設備担当や専門店代表者などで構成されています。毎月の電気、ガス、水道などの使用量の推移を確認し、削減についての施策を検討し具体的に実施していきます。



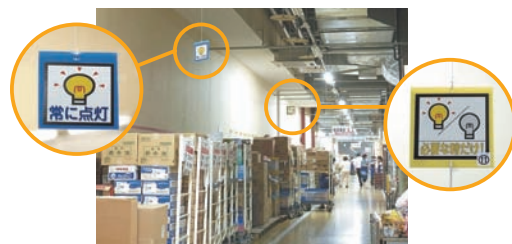
事務所内の空調

本社事務所内は、「エアコン使用規定」が定められています。6月～9月は夏季室温設定として28℃、12月～2月は冬季温度設定として19℃に決められています。またそれ以外の月はエアコン使用禁止期間とし、事務所での大半を占める空調による消費電力の削減に取り組んでいます。



バックヤードの照明

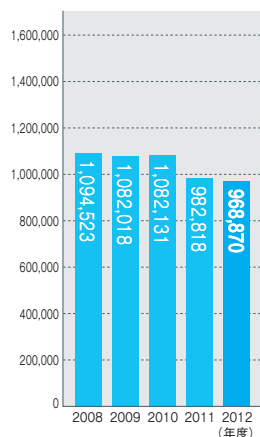
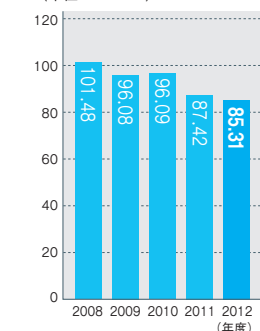
「必要な場所で必要な時だけ点灯する」と、店舗のバックヤードや事務所の電灯にはプルスイッチ（紐）をつけています。特にバックヤードには、作業や設置場所の状況を調べ、一つひとつのスイッチに「常に点灯」「必要な時だけ」を表示しました。



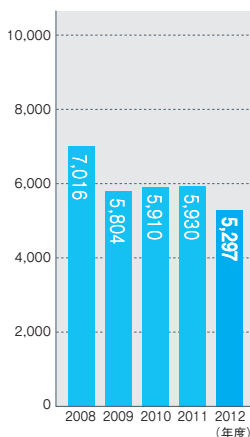
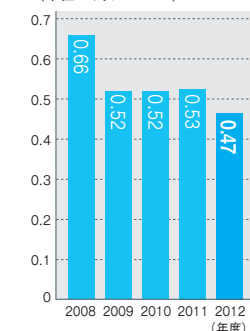
エネルギー使用量の推移

※データは、各年度とも当年2月21日～翌年2月20日までのものです。

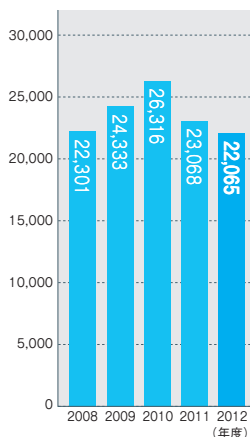
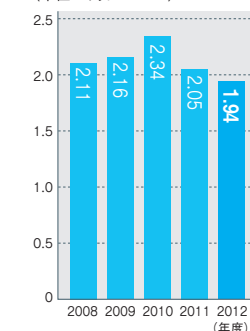
電気 (単位: 千kWh)

単位面積時間当たりの使用量
(単位: W/H.m²)

2011年同様、全店において照明設備関連、空調設備関連、冷蔵設備関連などで積極的に節電に取り組み、10月以降も引き続き節電を継続したことも削減につながりました。また、冷温水ポンプ定流量インバータを積極的に設置したことも削減の要因となりました。

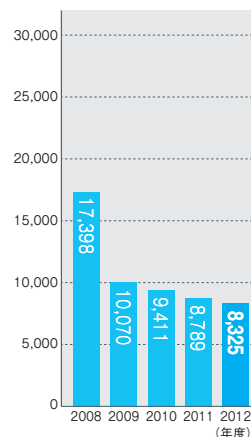
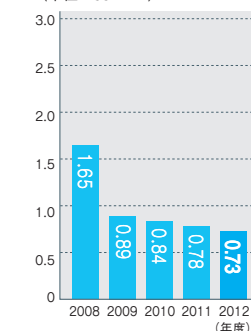
水道 (単位: 千m³)単位面積時間当たりの使用量
(単位: リットル/H.m²)

積極的な節電による空調使用量の削減効果により、水道使用量も大きく削減することができました。今後は雨水利用や節水トイレの採用などにより削減を図ります。

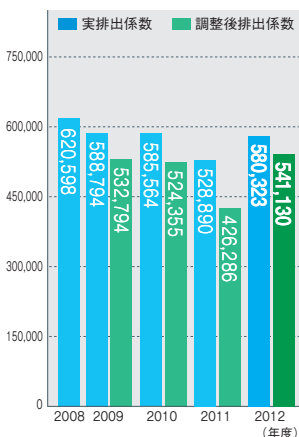
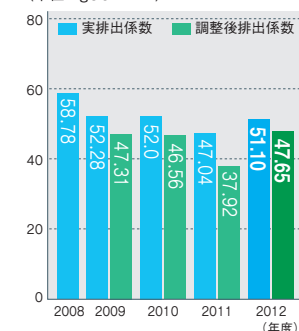
ガス (単位: 千m³)単位面積時間当たりの使用量
(単位: リットル/H.m²)

2011年に引き続き、店内設定温度を上げて、空調使用量を抑えることができました。また、冷温水発生器伝熱管の取り替えを積極的に実施したことも削減につながりました。

石油 (単位: 千リットル)

単位面積時間当たりの使用量
(単位: cc/H.m²)

2011年に引き続き、店内設定温度を上げて、空調使用量を抑えることができました。また、冷温水発生器伝熱管の取り替えを積極的に実施したことも削減につながりました。

二酸化炭素排出量 (単位: t-CO₂)単位面積時間当たりの使用量
(単位: gCO₂/H.m²)

エネルギー使用量は削減することができましたが、電力会社の原子力発電から火力発電への切り替えなどにより、全ての電力会社のCO₂係数が上がり、CO₂使用量が大幅に増加しました。

※調整後排出係数: 電気事業者の調節後排出係数 (京都メカニズムクレジット・国内認証排出削減量を加味している)

※単位面積時間当たりの使用量: CO₂排出量/営業面積×営業時間

2012年度のCO₂換算係数は下記より換算しました。

●電気・環境省ホームページ温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度について 電気事業者別のCO₂排出係数(2011年度実績)(平成24年11月6日公表) ●水道…独立行政法人国立環境研究所「水道に関するCO₂排出原単位の算定根拠」(環境省推奨) ●ガス・石油…環境省ホームページ温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度について 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧(平成22年3月改訂後)